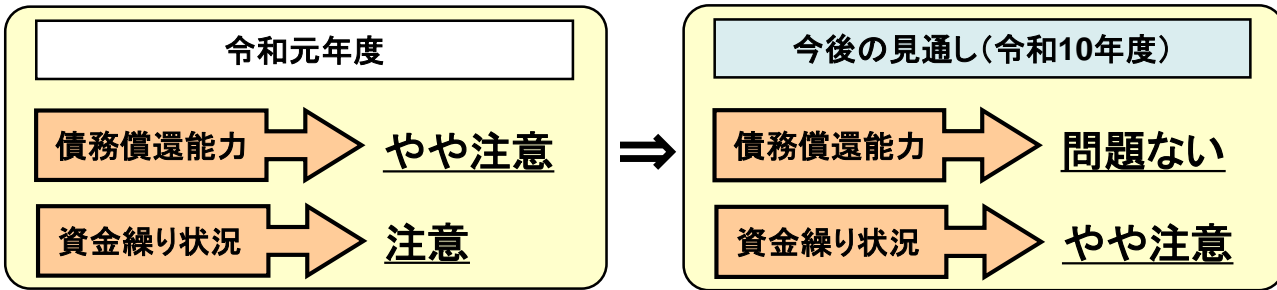


# 安八町の財務状況把握結果(要旨)

## 総合評価

(R3.12.20 財務省 東海財務局 岐阜財務事務所)



※貴町財政担当課作成資料に基づき診断

## 財務指標

指標	① 実質債務月収倍率 ( $\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収入} \div 12}$ )	② 債務償還可能年数 ( $\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収支}}$ )	③ 行政経常収支率 ( $\frac{\text{行政経常収支}}{\text{行政経常収入}}$ )	④ 積立金等月収倍率 ( $\frac{\text{積立金等残高}}{\text{行政経常収入} \div 12}$ )
問題なし	低下 ↑ 15.1月	短期化 ↑ 12.7年	上昇 ↑ 9.8%	上昇 ↑ 2.0月
やや注意	18.0月	15.0年	10.0%	3.0月
注意	24.0月		0.0%	1.0月

債務償還能力(①、②、③)

資金繰り状況(②、③、④)

## 留意点

貴町は、昭和40年代からの積極的な企業誘致により大手メーカー等の立地が進み、工業集積と雇用創出により発展してきた。また、岐阜市及び大垣市、名古屋都市圏にも近いことからベッドタウンとして人口増加を続けてきた。しかし近年は、立地企業の規模縮小・撤退などによる税収減に加え、下水道事業への繰出金の高止まりや直営施設の維持管理経費など物件費等の増加もあり、収支は厳しい状態にある。さらに平成30年3月の安八スマートIC開通に向け、地方債発行の増加と基金の取崩しが急速に進んだ。なお、スマートIC開通以降は、普通建設事業費の圧縮により地方債発行を抑制するとともに、財政調整基金の積立てが進んでいる。

スマートICの開通により、企業誘致や移住・定住の促進も見込まれ、自主財源の増加が期待されるものの、工業用地造成の財政負担とともに、高齢化の進展による税収減や社会保障関係経費の増加などにより、今後も厳しい財政環境が続くことが想定される。経常収支の逼迫による財政調整基金等の取崩しや公共施設等の更新に対する地方債発行が続けば、債務償還能力や資金繰り状況に大きな影響が生じることが懸念される。

貴町においては、各種計画を前提とした財政計画を策定するなど、中長期的な視点に基づいた行財政改革に取り組むことが望まれる。依然として厳しい財政環境ではあるが、住民との問題意識の共有を図り、スマートICといった資源を有効に活用しつつ、今後策定する「新行財政改革推進プラン」の着実な実行により、財政規律の確立と健全性の確保に努められたい。

## 財務指標の経年推移

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	類似団体 平均値	全国 平均値	(参考) 岐阜県 平均値
債務償還可能年数	12.4年	13.6年	16.6年	17.4年	12.7年	4.3年	8.0年	5.9年
実質債務月収倍率	13.8月	13.8月	16.2月	16.6月	15.1月	6.7月	8.5月	5.9月
積立金等月収倍率	2.4月	2.0月	1.6月	1.7月	2.0月	8.2月	7.4月	7.3月
行政経常収支率	9.2%	8.4%	8.1%	7.9%	9.8%	14.0%	11.4%	11.8%

※平均はいずれもR1年度